

人権文化をすすめる 町民運動に募集された 町内の 幼稚園児・児童・生徒の 人権 カット・人権作文・詩を紹介します



▲「ともだち4にんでむしとりをしているよ。
トンボをつかまえてみんなでかごにいれたよ。」
播磨西幼稚園5歳児 やまだしょうよう

これらの作品は、子どもの純粋な心と鋭い感性で問題をとらえ、子どもの切なる願いがあふれ、心をうつものがあります。また、幼稚園児のほのぼのと心温まるスケッチも記載しています。ぜひ、ご一読ください。

▶問い合わせ 学校教育グループ ☎079 (435) 0545

少年犯罪のない未来

播磨南中学校3年 折田美香

私は時々、友達とは何なのだろうかと、考えるときがあります。一緒に遊ぶための友達、一緒に何かを成し遂げるための友達、また部活で一緒に汗を流すための友達。

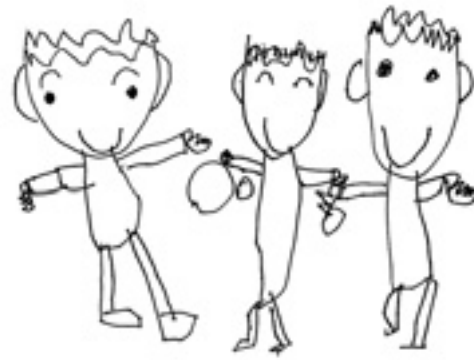
人にとって友達とは、様々ですが、生涯においてかけがえのない宝だと私は思います。

でも最近ではその友達が、昨日まで仲良しだった友達を殺してしまうという事件が、急激に増加しています。

また、それは友達関係だけではなく、交際していた相手、近隣の人、ましてや、自分を育ててくれた親、逆に自分が育ててきた子どもなどと、身近な人を殺してしまうという事件も増えています。

中でも一番目立ってきているのは、少年少女が関わっている犯罪だと思います。

テレビや新聞でも最近は大きく取り上げられ、「少年が集団で通りすがりの人を襲う」「民家に放火」などと、様々な犯罪が、連日繰り返され放送されています。でもそれはそのような事件があったと放送されるだけで、加害者や犯罪者の事はあまり触れられていません。私は、加害者に必死にならな



▲「友達と一緒にボール遊びをしているよ。」
播磨幼稚園5歳児 こうづき まさき

きみ

播磨小学校6年

猪野 椋太

僕が悲しんでいた時も
手をさしのべてくれたきみ
きみがいたから元氣になれた
僕が困っていた時も
たくさん助けてくれたきみ
きみがいたからがんばれた
僕が喜んでいたら
一緒に喜んでくれたきみ
きみがいたから楽しかった
僕もきみの手助けをした
思いでをくれたきみのために
きみ、それは一番大切な友達
どんな時も何があっても
一緒だった友達



▲「みんなで気持ちをあわせるとはやく入るよ！」
蓮池幼稚園5歳児 まつなが ゆうた

ったえ続ける被害者の姿をテレビを通して何度も見たことがあるのを覚えています。

どうして弱い立場の人が、そんなに辛い目にあわないといけないのでしょうか。それではあまりにも被害者がかわいそうだと思います。

そもそもどうして少年少女の犯罪が、こんなに増えてしまったのでしょうか。もちろんこの行為はいけないとわかってはいるはずなのに、人を殺してしまうという方向に向かってしまっているのでしょうか。

最近の若い人は、よく「自律心が無い」と言われますが、私はそれは本当に当たっているなと思うことがよくあります。私もささいなことでも怒って、人に当たってしまったら、自分を抑え

『いきいきクラブ』の人たち

播磨南小学校5年 青山 梨里花

私たちの地区(駅東)には、『いきいきクラブ』という名前の老人会があります。『いきいきクラブ』の人たちは、地区の子どもたちのために、いろいろな活動をしていています。

私が一番うれいのは、危険なふみきりや、車がよく通る所などで、私たちが安全に登校できるように、毎朝立ってしてくれることです。

「おはよう。」
「おはようございます。」
いつも一人一人に声をかけてくれます。

家を出る時、お母さんとけんかをして気分が悪い時には「どうしたん。元氣ないな。がんばって行っといで。」とはげましてくれま

夏の暑い日も、冬の寒い日も、雨の

みんなの地球

播磨中学校2年 武田 成美

みんなの地球が泣いている
暑い暑いと
嘆いている
みんなの家だけいいなあと
クーラー効いていいなあと
みんなの地球が怒っている

すぐになんでも
捨てること
毎日毎日たくさんの
ポイッが聞こえてくることを
みんなの地球が望んでいる
みんなもきつと
望んでる
これからみんなが向かう先に
明るい光が照らすことを

ることが出来なくなることがよくあります。でも、そんな時は、私を叱ってくれたり、一緒になってなくさめてくれる信頼の家族、友達がいいます。私は、私を守ってくれるこの人たちがいるから、こうして自分を保つことができるのだと思います。でも、罪を犯してしまう少年少女達には、自分を守ってくれる人たちが、周りにはいないと思います。いつでも自分一人のことしか考えることができずに、自分の殻に閉じこもってしまうのではないのでしょうか。

これから、犯罪を防ぐためにも、罪を犯してしまう少年少女たちには、守ってくれる信頼のできる親や友達が必ず必要なんだと思います。そんなふうにも、お互いを助け合っていることで、少年少女による犯罪は少しずつでも減っていくのではないかと思います。

身近な大人が、少しずつでも少年少女達に手をさしのべていけば、きっと犯罪を防げるはずですよ。こうして地域で取り組むことが、社会全体にも良い影響を及ぼすのではないかと、私は考えます。

いつか少年少女による犯罪がなくなることを願って。

日も、毎朝必ずそこいらで聞いています。

「あじがとう。」
「ありがとう。」

私のお母さんも「本当に、ありがとうね。『いきいき』の人たちがいるから、安心していらっらっしゃいができるんやで。感謝せんとなあ。」と言っています。

悪いことをすると、本気でしかられます。いつも年下の子にやさしくしなさいと教えてくれます。

私たちの事を、大切に思っていてくれるから、大変な事でもずっと続けてくれるんだと思います。

私たちがお礼にできることは、元氣に「おはようございます。」とあいさつすることです。

私も、大人になって子どもを守るような、りっぱな大人になりたいです。人の役に立つことを、やり続けていくのは大変だけど、すばらしい事だと思います。

10月12日(金)に播磨中学校の1年生は、環境学習で喜瀬川の調査を行いました。晴天の中、クラスごとに分かれ、大中橋から新幹線の高架下までの、①ゴミ②生物③水質を調査をしました。

①ゴミは普段から清掃が行き届いており、量的には少なかつたです。

②生物は、カニやスジエビ・コオニヤンマなどを確認することができました。

③水質調査は教室に戻り、持ち帰った水を簡易水質検査試薬(パックテスト)を用いて測定しました。

以上の結果から、喜瀬川の水は比較的きれいな水であることがわかりました。今回の経験を生かして、身近な喜瀬川を大切にしていきたいと痛感した1日でした。



生物調査



▲教室での水質調査

球技大会と同様、今年の体育祭も天気にも恵まれず、延期された。しかし、休みを挟んだ次の日は、素晴らしい秋晴れで、絶好の体育祭日和となった。播南名物の全クラス対抗長縄は一番盛り上がった。

この競技は、8人跳び・ダブルダッチ・20人跳びと3つの種類に分けられ、タイムを競う。夏

休み前からすでにメンバーを決めて練習に取り組んでいた。本番に思うような結果が出なかったクラスや、逆に最高のタイムだったクラスなど様々だったが、結果はどうあれ、クラスの団結がより一層深まった、よい体育祭だったと思う。



▲播磨名物長縄。気合入れて跳ぶぞ

播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。



10月19日(金)は、子どもたちが楽しみにしていた秋の遠足でした。4年生は、伝統工業の体験学習に丹波立杭を尋ねて陶芸に挑戦し、熱心に作品作りに取り組みました。

【児童の作文】
今日は、待ちにまつた遠足ですが…。朝から雨が降って、かさをさして学校へ行きました。蓮池小学校は天気に恵まれてい



▲おもいでづくりは真剣です

ないと思いました。(運動会も雨で延期)…略…
最初にお手本を見せてもらいました。ひとつの土のかたまりから五つの器ができて、すごいと思いました。土があやつられていたように思いました。私は、おたま入れとお茶わんを作ろうと考えていたけど、むずかしそうだったので、湯飲みに取っ手(耳)をつけ、目・鼻・口をつけてサルにしました。楽しかったです。けっこう上手くできたかなと思います。一ヶ月後に立杭焼きが届くのが楽しみです。

ラグビー元日本代表の大八木淳史さんを講師に迎えた「ラグビー教室」が16日(火)、本校で開催、3年生の児童92人がラグビーを体験しました。

スをする」の助言は分かりやすく真剣に聞いていました。楕円形のボールに慣れない児童は、大きな声を掛け合ってラグビーボールのパスを楽しみました。

この日は、クラスごとに列になり、最後尾の児童が前の子にボールをパスし、列の先頭まで走っていくゲームを続けました。大八木さんの「パスをもらう準備をする」「相手に自分の意思を伝える」「相手にあわせたパス」

トップアスリートに指導を受け、貴重な体験が出来た一日でした。



▲パス！パス！

▼大八木さんとハイ、チーズ！



親子で「食育」



蓮池幼稚園

また、いずみ会の方が作ってくださったサツマイモクッキーを試食したり、歯科衛生士さんにもらったすめを30回噛みながら、噛むことの大切さを教えてもらったりしました。

親子で食について考えるよい機会になりました。

『蓮池小学校校区食育推進ネットワーク協議会』（蓮池っ子食育サポート隊）が開催した「食育ひろば」に親子で参加しました。展示されている食物を見ながら、「このお菓子、こんなに油使ってる!!」「ジュースって砂糖いっぱい入ってるんや!!」と、大好きなお菓子やジュースに入っている油や砂糖の量を分かりやすく、ミニゼリーカップやコップに入れて展示されているのを見て、子どもたちもお母さんもびっくり!!



大正琴ってステキだね

播磨中央保育園

「今日は、大正琴の演奏の日やね」朝から楽しみに、登園してきた子どもたち。

老人クラブの方に、4つのパートに分かれて演奏することを聞き、興味津々でした。演奏が始まると、大正琴の独特な音色に、目をキラキラさせて聞き入り、「人間っていいな」「ヤ、サザエさん」など知っている曲が流れてくると、演奏に合わせて、楽しそうに歌っていました。

演奏の後、おばあさんたちがフラダンスの衣装に着替えて登場! 「かわいい!」「私もあんなドレス着たい」と歓声をあげ、うっとり踊りに見とれていました。子どもたち手作りのレイをプレゼントし、全員でフラダンスを楽しみ、おばあさんたちからは、折り紙を組み込んで作った宝物入りを頂き、とてもうれしそうにお礼を言いました。

なごやかな雰囲気の中、楽しいひとときを過ごしました。



▶ フラフラ フラダンス

きゃんぱすだより

あなたに はつタツ!

リレーエッセー⑪

楽しい? 我が家



永森 利依子さん
(野添)

趣味 体を動かすことが好き。いろいろやってみたいのですが、今はサークルでエアロとバレーボールをメチャ楽しんでます。

ドタドタ、バタバタ、パコーン。「きつくて起きんかいな、時間ないで!!」我が家の朝は毎朝こんな感じで、小学生の息子2人を起こすところから始まり、セカセカと朝食を食べ、「忘れ物はない?」「ほんまに、朝起きられへんねんやったら晩に、早よ寝ろ」と毎朝同じセリフに見送られて子どもたちが出発の後、主人が起き、次に朝からグダグダとした幼稚園児が「今日も幼稚園なん?」と、毎日疑って起きてきます。3人の息子がに囲まれ、ホントに落ち着きがない、せわしない毎日を過ごしていますが、不思議なことに、この3人の息子たちは同じ親に育てられていながらも、それぞれ全然違う性格をもっていて、

毎回毎回、主人と「個性にしても違いすぎるな」と感じています。ゆつくりと物事に取り組んで、のんびりと毎日を過ごしている長男。セカセカと物事をやりこなして常に、ピリピリと神経を張り巡らしている次男。そんな2人の兄をじっくりと見て、自分に損のないように、用心深く時には大胆に周りを利用していく三男。ホント、三者三様でおもしろい毎日です。そんなドタバタ我が家にも待望の娘? がやってきました。名前は「メロン」また、なんちゅう変わった名前を!! と、お思いでしょがこの娘は人間ではなく、犬なのです。人間の子どもにしても、犬の子どもにしても、女の子の方がおとなしいよ

と聞いていたので迷うことなく、メスをもらってきたのですが、これがまた、なんの、なんの、息子たち3人以上にやんちゃでわんぱくなメスなんです。もろわれてきたころの可愛らしい面影も今はなく、オス犬っぽい風貌で息子たちを傷だらけにする毎日なのですが、息子たちは、犬をとってもかわいがっています。ご近所の方々にも毎日、かわいがって頂きありがたく思っています。小学校からたくさん子どもたちが帰ってくると綱も切れそうな勢いではしゃぎまわって、「私をなでて、私をなでて」と、言わんばかりに、「クウンクウン」と鳴いています。郵便屋さんにもシッポフリフリ甘えていくので番犬にはなりません。我が家を和ませてくれる大切な存在です。



このコーナーに登場して下さる「人、仲間たち」をご紹介ください。自薦・他薦は問いません。企画グループ

兵庫K-Ballクラブ

代表 上田 隆行さん

くても全く問題ありません。

活動の内容

週末土日に旧播磨北小学校で練習しています。グラウンド作りから子どもたちが行います。基本が出来ていないと将来必ず伸び悩む時が来ます。今勝つことよりもきつちり基本を教えることを大切にしています。

グループのモットーは?

①正しい基本技術の体得を目指し、上の段階で通じる野球の土台作りをする。②教室で学べないことをグラウンドで培う。③子どもであっても1人の個人として認め、主体性、協調性を養う。

以上は指導者が誰であろうと変わることはなく、指導者によって子どもが戸惑ってしまうようなことはありません。



▲毎月、無料体験練習会を行っています

ひ。ろ。ば